



奨学金とは？

奨学金と聞くと、大学生や専門学校生が利用するものと考えられる方が多いかと思いますが、高校生が利用できる奨学金もあるのです。今日は、そんな奨学金についてお伝えしたいと思います。

奨学金とは、**さまざまな機関が、諸事情により経済的に不安がある学生に対して、学費や生活費の給付や貸与を行う制度**のことです。

奨学金には、「公的な奨学金」と「民間の奨学金」があります。

- 公的な奨学金…国や都道府県などの行政機関で給付、貸与するもの。
- 民間の奨学金…社団法人などが独自に給付、貸与するもの。

また、奨学金は、給付型と貸付型に分けることもできます。

- 給付型…**お金の返済の必要がない**もの。
- 貸付型…**お金の返済が必要**なもの。
(卒業後に計画的に返済していくことになります。)

申請には、機関によって必要な書類は違います。中学校の成績や、世帯収入額などの書類を必要とすることがあります。また、申請をしたから**必ず奨学金を受け取ることができるとは限りません**ので注意してください。

学校に案内がある奨学金以外にも、インターネットで福島県にある「公的な奨学金」や「民間の奨学金」を探することができますので、興味がある方はチェックしてみてください。

賢いゾウでは…

みなさんは、ゾウという動物を知っていますか？もちろん知っていますよね。ゾウは大変賢い動物で、ある国では、仕事のパートナーになったり、神様の遣いだといわれていたりします。そんなゾウにかかわる次のような話があります。

インドでは、ゾウを調教するとき、まず子どものゾウを大きな竹につなぎます。はじめ、ゾウは自由を得るために、竹を揺さぶり引き倒そうとします。しかし、子どものゾウの力ではどうすることもできません。何日も苦闘したあげく、自分の努力が無駄だと悟ってしまうのです。

賢いゾウが一度そう悟れば、あとは簡単です。地面に小さな杭を打ち、これにゾウをつないでおけるのです。大人になり力がついたゾウであっても、積極的な心構えを失ったゾウは、はじめに味わった無力感で、現状をただ受け入れるだけなのです。

あなた方は『賢いゾウ』になってはいけません。

勉強や部活動など全てのことにいえることなのですが、努力の成果がすぐに現れるとは限りません。どんな結果が続こうと努力し続けることが必要なのです。

今、テストを目指して学習を行っていると思いますが、「楽に何とかしよう」「何とかできるさあ」という気持ちの人はいないでしょうか？自主学習の内容が簡単なことばかりになっていませんか？学習は、覚えることが多く、時間や労力を費やさなければならないものがあります。学校では、「とりあえずやればよい」という考えではなく、「しっかり理解しよう」という考えで、何度も何度もくり返し学習ができるように指導していきますので、ご家庭でも学習の様子を同じ考えで支援していただければと思います。あきらめない限り、夢は叶います。「賢いゾウ」にならないように、積極的な心構え（チャレンジ精神）をもった生徒になれるように支援していきましょう。